２０２３年度

事業報告書

自：２０２３年　４月　１日
至：２０２４年　３月３１日

１．事業報告
２．附属明細書

公益財団法人　古河記念基金

東京都千代田区大手町二丁目６番４号
常盤橋タワー（古河三水会内）

事　業　報　告

Ⅰ．事　業

概　況

奨学金給付事業については、2023 年度の奨学金支給人数及び支給額は、計画時 54 名 24,600 千円で採用も同数の 54 名であったが、外国人留学生の 9 月卒業や、休学（病気療養）による支給停止等により、支給実績は 23,870 千円となった。この 54 名のうち 9 名が卒業・支給期間満了となり、45 名が 2024 年度奨学生として継続する。

一方、研究助成事業については、2024 年 2 月に計画どおり研究助成金 1,000 千円を支給した。

１．奨学金給付事業

１．１　指定大学推薦による奨学金給付事業

１．１．１　日本人学生

事業計画どおり指定国立 3 大学（東京大学、東京工業大学、横浜国立大学）から各 1 名の推薦を受け、３名全員を採用した。

継続 6 名と合わせ、9 名に対し給付を行い、支給総額は、事業計画比 300 千円減の 3,600 千円だった。計画時に継続と見込んだ 1 名は支給期間 6 年満了となったため、計画比 1 名減となった。

（金額単位：千円）

支給月額			事業計画		実　績	
			人数	金額	人数	金　額
新規	自宅	30	1	360	0	0
	自宅外	35	2	840	3	1,260
継続	自宅	30	4	1,440	3	1,080
	自宅外	35	3	1,260	3	1,260
合　計			10	3,900	9	3,600

１．１．２　外国人留学生

事業計画どおり早稲田大学、慶應義塾大学から各 1 名の推薦を受け、継続 2 名と合わせ 4 名に対し給付を行い、1 名が 9 月卒業となったため、支給総額は、事業計画比 480 千円減の 3,360 千円だった。

（金額単位：千円）

支給月額		事業計画		実　績	
		人数	金額	人数	金　額
新規	80	2	1,920	2	1,920
継続	80	2	1,920	1.5	1,440
合　計		4	3,840	4	3,360

１．２　インターネット募集による奨学金給付事業

新規奨学生は計画比１名増の 15 名、継続奨学生は計画どおり 26 名を採用した。支給総額は、事業計画比 50 千円増の 16,910 千円だった。

（金額単位：千円）

支給月額				事業計画		実　績	
				人数	金　額	人数	金　額
新規	国、公立	自宅	30	1	360	3	1,080
		自宅外	35	8	3,360	6	2,520
	私立	自宅	35	3	1,260	※1　3	1,050
		自宅外	40	2	960	3	1,440
継続	国、公立	自宅	30	3	1,080	4	1,440
		自宅外	35	13	5,460	13	5,460
	私立	自宅	35	7	2,940	6	2,520
		自宅外	40	3	1,440	※2　3	1,400
合　計				40	16,860	41	16,910

※1 新規私立自宅の３名のうち１名は、６ケ月は休学による支給停止。

※2 継続私立自宅外３名のうち１名は、８ケ月は自宅区分。

１．３　奨学金支給額計画実績比

年間での奨学金支給総額は、事業計画比 730 千円減の 23,870 千円だった。

（金額単位：千円）

		事業計画(a)	実　績(b)	差額(b－a)
指定大学推薦	日本人	3,900	3,600	▲ 300
	外国人	3,840	3,360	▲ 480
インターネット募集		16,860	16,910	50
合　計		24,600	23,870	▲ 730

１．４　その他付随行事

１．４．１　奨学金支給決定書交付会

2023 年 6 月 26 日（月）に、奨学金支給決定書交付会を開催し、奨学生 15 名が出席した。

古河直純理事長の開会の辞に続き、奨学生ひとりひとりに奨学金支給決定書が手交された。その後、奨学生によるスピーチを行い、最後に石山喬様、相馬信義様からのお祝いの言葉で閉会した。

１．４．２　交流誌の発行

奨学生同士の交流や事務局からの情報伝達を図ることを目的として、毎年 2 回交流誌を発行している。本年度は第 39 号を 9 月に、第 40 号を 12 月に発行した。

１．４．３　奨学生工場見学会

2023 年 9 月 1 日（金）に、4 年ぶりに工場見学会を開催した。奨学生 14 名が参加し、栃木県の古河産機システムズ㈱小山工場を訪問した。

２．研究助成事業

研究助成金支給に係る所定の手続きに従い、2024 年 2 月に早稲田大学理工学術院及び慶應義塾大学理工学部に対し、研究費援助として各 500 千円（合計 1,000 千円）を支給した。

３．その他事業

本年も、前記の育英事業を重点的に推進し、それ以外に推進した事業はなかった。

Ⅱ．庶務・管理

１．役員等に関する事項

2023 年 6 月 21 日の定時評議員会において、評議員、理事、監事の任期満了に伴い、新たに評議員 12 名、理事 12 名、監事 3 名が選任された。また、評議員会終了後直ちに理事会が開催され、理事長（代表理事）及び常任理事（業務執行理事）が選定された。

2024 年 3 月 29 日の臨時評議員会において、評議員 2 名、理事 2 名が選任された。

2024 年 4 月 1 日現在の役員等は次のとおり。

①評議員

役　職	氏　名	常勤・非常勤の別	備　　考
評議員	古河　潤一	非常勤	古河林業㈱社長
評議員	青山藤詞郎	同	慶應義塾大学名誉教授
評議員	川田　宏之	同	早稲田大学教授
評議員	宮川　尚久	同	古河機械金属㈱会長
評議員	吉田　政雄	同	古河電気工業㈱名誉顧問
評議員	郡　　昭夫	同	㈱ＡＤＥＫＡ相談役
評議員	山石　昌孝	同	横浜ゴム㈱会長
評議員	北澤　通宏	同	富士電機㈱会長 CEO
評議員	田中　達也	同	富士通㈱元社長
評議員	佐藤　薫郷	同	日本軽金属ホールディングス㈱元社長
評議員	佐藤　美樹	同	朝日生命保険(相)特別顧問
評議員	塚本　隆史	同	株みずほフィナンシャルグループ特別顧問

②役員

役　　職	氏　名	常勤・非常勤の別	備　　考
理事長 (代表理事)	古河　直純	非常勤	日本ゼオン㈱名誉会長
理　事	中戸川　稔	同	古河機械金属㈱社長
理　事	森平　英也	同	古河電気工業㈱社長
理　事	城詰　秀尊	同	㈱ＡＤＥＫＡ社長
理　事	清宮　眞二	同	横浜ゴム㈱社長
理　事	近藤　史郎	同	富士電機㈱社長 COO
理　事	時田　隆仁	同	富士通㈱社長
理　事	岡本　一郎	同	日本軽金属ホールディングス㈱社長
理　事	豊嶋　哲也	同	日本ゼオン㈱社長
理　事	石島健一郎	同	朝日生命保険(相)社長
理　事	木原　正裕	同	㈱みずほフィナンシャルグループ社長
常任理事 (業務執行理事)	橋本　　卓	常　勤	古河三水会事務局長
監　事	井上　一夫	非常勤	古河機械金属㈱常勤監査役
監　事	天野　　望	同	古河電気工業㈱常勤監査役
監　事	内田　寿夫	同	横浜ゴム㈱取締役監査等委員

2．職員に関する事項

職　名	氏　名	常勤・非常勤の別	備　　考
事務局長	射場　孝	常勤	
職　員	四十物千加子	常勤	

3．評議員会等に関する事項

①評議員会

開催日	議　事　事　項		会議の結果
定時評議員会 2023 年 6 月 21 日	決議事項	2022 年度決算の件	承認可決
		評議員 12 名選任の件	承認可決
		理事 12 名選任の件	承認可決
		監事 3 名選任の件	承認可決
	報告事項	2022 年度事業報告の件	了承
		2022 年度寄付金受入結果および使途について	了承
		2023 年度奨学生について	了承

開催日	議　事　事　項		会議の結果
臨時評議員会 2024 年 2 月 7 日	決議事項	2024 年度事業計画書の件	承認可決
		2024 年度収支予算書等の件	承認可決
	報告事項	2023 年度寄付報告	了承
		古河記念基金の今後の運営について	了承
みなし決議に関する 臨時評議員会 2024 年 3 月 29 日	決議事項	理事 2 名選任の件	承認可決
		評議員 2 名選任の件	承認可決

②理事会

開催日	議　事　事　項		会議の結果
第 49 回 2023 年 5 月 17 日	決議事項	2022 年度事業報告の件	承認可決
		2022 年度決算の件	承認可決
		評議員候補者 12 名推薦の件	承認可決
		理事候補者 12 名推薦の件	承認可決
		監事候補者 3 名推薦の件	承認可決
		定時評議員会の招集の件	承認可決
	報告事項	2022 年度寄付金受入結果及び使途についての報告	了承
		2023 年度奨学生について	了承
第 50 回 2023 年 6 月 21 日	決議事項	理事長選定の件	承認可決
		常任理事選定の件	承認可決
		選考委員選定の件	承認可決
	報告事項	代表理事及び業務執行理事の職務執行の状況報告	了承
第 51 回 2023 年 12 月 20 日	決議事項	2024 年度事業計画書の件	承認可決
		2024 年度収支予算書等の件	承認可決
		2024 年度資金運用計画の件	承認可決
		「個人情報管理規程」変更の件	承認可決
		臨時評議員会の招集の件	承認可決
	報告事項	2023 年度資金運用の状況について	了承
		代表理事及び業務執行理事の職務執行の状況報告	了承
		寄付報告	了承
		「交流誌第 40 号」完成の件	了承
第 52 回 【みなし決議】 2024 年 3 月 13 日	決議事項	理事 2 名辞任に伴う後任理事候補者 2 名推薦の件	承認可決
		評議員退任、辞任に伴う後任評議員候補者 2 名推薦の件	承認可決
		臨時評議員会の招集の件	承認可決

４．許可・認可及び承認並びに証明に関する事項

該当事項はなかった。

５．契約に関する事項

該当事項はなかった。

Ⅲ．基本財産に関する事項

本年度中の基本財産の動きは以下のとおり。

１．投資有価証券（満期保有債券）

本年度は満期到来債券がなく、売買はなかった。

２．投資有価証券（その他有価証券）

（１）本年度は満期到来債券がなく、売買はなかった。

（２）期末時価評価により、次のとおり評価損益が発生した。

（金額単位：円）

銘　柄	旧簿価	新簿価	評価損益
みずほＦＧ(劣後)第9回無担保社債	99,017,000	99,036,300	19,300
損保ジャパン日本興亜（劣後）第1回無担保社債	98,520,000	99,400,000	880,000
みずほＦＧ永久(劣後)第9回社債	95,460,000	96,150,000	690,000
共同発行市場公募地方債 第209回	39,072,000	38,924,000	▲ 148,000
みずほＦＧ(劣後)第23回無担保社債	39,028,000	38,844,000	▲ 184,000
みずほＦＧ(劣後)第25回無担保社債	11,677,200	11,493,600	▲ 183,600
ソフトバンクグループ第58回無担保社債	101,260,000	101,090,000	▲ 170,000
利付国債（20年）第182回	101,460,000	95,240,000	▲ 6,220,000
		合　計	▲ 5,316,300

３．投資有価証券（株式）

（１）期末時価評価により、次のとおり評価損益が発生した。

（金額単位：円）

銘　柄	株数	旧簿価＊		新簿価		評価損益
		単価		単価		
横浜ゴム㈱普通株式	5,000	2,797	13,985,000	4,026	20,130,000	6,145,000
	6,500	2,797	18,180,500	4,026	26,169,000	7,988,500
日本軽金属ホールディングス㈱普通株式	6,300	1,462	9,210,600	1,819	11,459,700	2,249,100
合　　計			41,376,100		57,758,700	16,382,600

４．定期預金

（１）2024 年 3 月 29 日、古河林業㈱からの寄付金 300,000 円を定期預金とした。

（２）以上の結果、2023 年度の期末残高は、2,154,000 円となった。

以　上

事業報告の附属明細書

２０２３年度事業報告には，「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。